

09 JA 夏休みこども村

【日 時】 平成 29 年 8 月 23 日（水）13：00～14：30

【場 所】 ふるさと体験館きそふくしま

【内 容】 以下のとおり

このイベントは、JA あいち知多と JA 木曽が共同で毎年夏休みに併せて行っているもので、今年は「木曽川の最上流で学ぶ人と自然の共生」をテーマにカヌー体験や農業体験、魚の掴み取りなど自然と触れ合える企画が多く、下流域から知多地域の小学生 30 名が参加しました。

今回、主催者から参加者の子供達にお土産用の箸づくり体験を行ってもらいたいと依頼があり、木曽広域交流事業実行委員会として子供達への森林整備啓発活動の一環として、箸づくり体験を通じて上流と下流の木曽川を通じた繋がりや、水源地保全の重要性などを学んでいただく為に協力しました。

昼過ぎからの体験という事もあり、子供達の昼食会場である「ふるさと体験館」の木工室をお借りして、ご飯を食べ終えた子供達から順番に箸づくりを行いました。今回参加した小学生は全員 3 年生以上という事もあり、最初に手順の説明をするとすぐにコツを掴み、自分達でさっさと作っていました。予想通りカンナを使う事が初めての子供たちが多かったのですが、苦戦している子供がいると上級生が積極的に手伝ってあげるなどのチームワークがみられ、ほぼ予定通りに 1 時間で 30 人全員が箸を作り終える事が出来ました。

箸づくり終了後は、プロジェクターを使用して、子供達に「木曽川と愛知用水の関係」「森林が果たす役割」「森林を守るための取り組み」など水源地保全の為の取り組みを簡単に説明しました。子供達は一様に真剣な表情で話を聞いていました。

今回は箸づくり体験の講師依頼という形でしたが、箸づくり終了後に時間をとり下流域の子供たちに森林整備に係る話が出来たことで、下流域の子供達が森林に対して、普段から何気なく使っている水に対して考えるきっかけになったのではないかと思います。普段のイベントの中では今回のように住民の方にじっくりと森林整備の取り組みを説明する時間は取れませんが、今後こういった機会を増やせるような仕掛けづくりも必要と感じました。

◎ 当日の様子



会場（箸づくり）



会場全景



箸づくり体験の様子①



箸づくり体験の様子②



森林整備取組の説明①



森林整備取組説明②（熱心に話を聞く子供達）